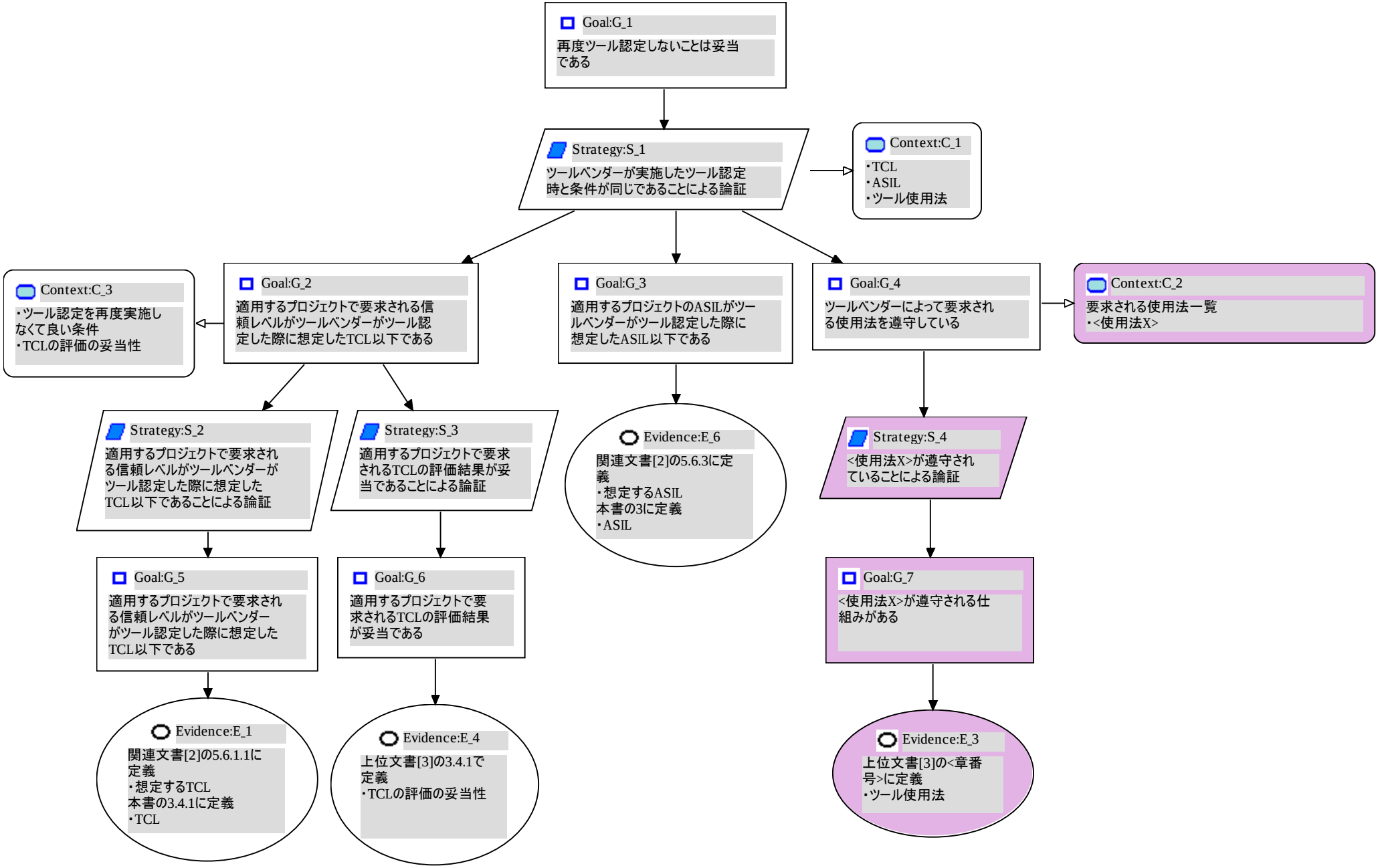
Goal:G_1
再度ツール認定しないことは妥当である
Strategy:S_1
ツールベンダーが実施したツール認定時と条件が同じであることによる論証
Context:C_1
・TCL
・ASIL
・ツール使用法
Context:C_3
・ツール認定を再度実施しなくて良い条件
・TCLの評価の妥当性
Goal:G_2
適用するプロジェクトで要求される信頼レベルがツールベンダーがツール認定した際に想定したTCL以下である
Goal:G_3
適用するプロジェクトのASILがツールベンダーがツール認定した際に想定したASIL以下である
Goal:G_4
ツールベンダーによって要求される使用法を遵守している
Context:C_2
要求される使用法一覧
・<使用法X>
Strategy:S_2
適用するプロジェクトで要求される信頼レベルがツールベンダーがツール認定した際に想定したTCL以下であることによる論証
Strategy:S_3
適用するプロジェクトで要求されるTCLの評価結果が妥当であることによる論証
Evidence:E_6
関連文書[2]の5.6.3に定義
・想定するASIL
本書の3に定義
・ASIL
Strategy:S_4
<使用法X>が遵守されていることによる論証
Goal:G_5
適用するプロジェクトで要求される信頼レベルがツールベンダーがツール認定した際に想定したTCL以下である
Goal:G_6
適用するプロジェクトで要求されるTCLの評価結果が妥当である
Goal:G_7
<使用法X>が遵守される仕組みがある
Evidence:E_1
関連文書[2]の5.6.1.1に定義
・想定するTCL
本書の3.4.1に定義
・TCL
Evidence:E_4
上位文書[3]の3.4.1で定義
・TCLの評価の妥当性
Evidence:E_3
上位文書[3]の<章番号>に定義
・ツール使用法